

SDG s セミナー 報告

日 時：令和3年11月9日（火）16時00分から17時25分まで
会 場：たかつガーデン 「オリーブ」
参加者：26名（会員様の参加者 24名）
講 師：吉本圭吾氏（りそなホールディングス SDG s 推進室長）
演 題：「今から始める SDG s ～事業の成長を見据えた設備投資と人材確保～」

最近は毎日のように飛び交う「SDG s」という言葉、なんとなくわかっているようでも詳しくはわからない、特に中小企業の金属プレス製造業として何をすればよいのか、何から始めればよいのか、これらの疑問に答えるべく会員様に向けて SDG s についてのセミナーを開催致しました。

SDG s で世の中の何が変わろうとしているか、「環境」「社会」「経済」の関係の変化、環境・社会に支えられた経済から環境・社会を支える経済へ、経済は健全な環境と社会の上に成り立ち、経済が成長するためには環境と社会が持続する必要がある。これらの持続可能な共通目標が SDG s であるとのこと説明でした。昔は安くて高品質な物に価値がありましたが、これからは環境や社会に悪影響がある物は経済的な価値が低いとのことでした。

「環境」の代表格が「カーボンニュートラル」カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量をゼロにすることですが、完全にゼロにすることは難しいため、“差し引きゼロ”を目指すことを指します。石炭火力発電は経済成長を支えてきたエネルギー源でしたが、経済が拡大・成長した現在では温室効果ガスの排出量が問題となり否定的です。環境を犠牲にする経済活動は、長い目で見て経済的な価値がないという価値観に変わっているそうです。温室効果ガス削減の取り組みは急速に広まり、自動車メーカーはじめ各大手企業には、サプライチェーン排出量全体を“実質ゼロ”にする圧力がかかっているそうです。その動きが仕入先・下請け先の中小企業に及んできており、自社の温室効果ガス排出量の把握に取り組む企業が増えているとのことでした。中小企業として取引先からの削減要請をどう考えるか、意欲的に取り組み成果をアピールすることで選ばれる企業になることが大事であり、まずはその第一歩として自社の温室効果ガスの排出量算定から始めることが良いのではないのでしょうか、というご説明でした。Scope1,2,3 というカテゴリー区分のご説明があり、それぞれの算出方法についてのご説明がありました。意外と単純な計算式で排出量を算出することが出来そうでした。更には排出量を削減する方法についても製造業の事例をあげて具体的にご説明を頂きました。「カーボンニュートラル」についての理解がかなり深まったのではないのでしょうか。

最後に、人権をめぐる動きと事業への影響についてのお話がありました。ユニクロが新疆ウイグル自治区の綿を使用して販売停止に追い込まれた例など大手企業はすでに影響を受け、今後は中小企業にも波及

します。中小企業としてどういうことに気を付ければよいか、事前に“セルフチェック”で備える方法などをご説明頂きました。また健康経営をアピールするための“健康経営優良法人認定制度”についてもご説明頂き皆さん興味津々でした。

講義の終了後には質疑応答の時間があり、最後にアンケートをご提出頂いて終了致しました。

ご参加頂いた皆様有難うございました。今後は SDG s についてはフォローを続けたいと思います。今回の企画にご尽力頂いた関健一理事とご講演頂いたりそなホールディングス様及びりそな銀行様に感謝致します。

